

・11月30日(土)、第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会が開催され、清水町駅伝チームが見事2年ぶり4度目の優勝を果たしました。

大会では、王座奪還の期待がかかる中、選手一人一人が全力を尽くし、1区から一度もトップを譲ることなくタスキをつなぐ圧巻のレースを見せしてくれました。

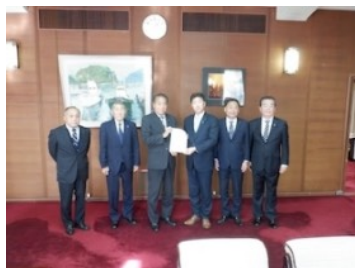
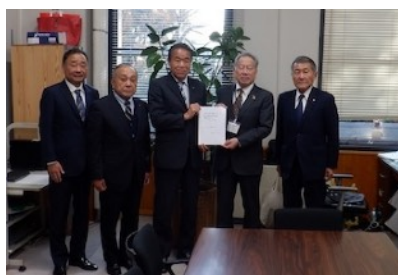
多くの町民に元気と感動を届けてくれた清水町チームの皆さまに心から感謝と敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待しております。



・11月27日(水)、町内で行われている静岡県の道路事業（（仮称）狩野川新橋、西間門新谷線）の整備促進について、坪内県議会議員、佐野町議会議員のご同席を賜り、交通基盤部、沼津土木事務所等の関係機関を訪問し、要望活動を行わせていただきました。

県からは、どちらも重要な路線であるので今後とも着実な事業進捗を図っていくとのコメントをいただきました。

町内では、静岡県による様々な事業が行われております。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



・11月26日(火)、全国道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会全国協議会・全国高速道路建設協議会・全国街路事業促進協議会の道路関係4団体による「安全・安心の道づくりを求める全国大会」に出席しました。

同大会では、"安全・安心の道づくりは国民全ての願い"の考えのもと、国に対して令和6年度補正予算・令和7年度予算について、必要な所要額満額の確保を求めることを決議しました。

大会終了後には、東駿河湾環状道路整備促進期成同盟会の要望活動も兼ねて、地元選出国會議員への要望活動を実施しました。



・11月25日(月)、令和6年度「地方を守る会」総会に出席しました。

本会は、激甚化・頻発化する自然災害から国土の安全・安心を守るため、基礎自治体と地方整備局等の連携及び体制強化を図ることを目的として、全国558市町村で組織されています。

総会では、これまでの主な活動や令和5～6年度における大規模災害の対応、今後の活動方針について審議し、承認されました。



・11月21日(木)、第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会壮行会に出席しました。

11月30日(土)に開催される本大会は、静岡県のスポーツ選手の発掘・育成・強化や県民の体力向上を目的に2000年から開催されており、毎年、清水町駅伝チームの皆さまの粘り強い走りやひたむきな姿勢から、多くの勇気と感動をいただいております。

今大会に向けて厳しい練習に取り組み、努力を続ける選手と関係者の皆さまに心から敬意を表するとともに、大会当日は、選手一人一人が日頃の成果を十分に発揮し、最高の成績を収められることをご祈念申し上げます。



・11月21日(木)、清水町特別職報酬等審議会（仲田敏道 会長、青島和伸 会長代理）から特別職の給与及び議会議員の報酬についての諮問に対する答申をいただきました。

審議会におきましては、消費者物価指数や最低賃金の改定率などの統計的な指標に加え、町の財政状況や近隣自治体の状況などを総合的に勘案して、改定額をお示しいただいたことに心から感謝申し上げます。

今後におきましては、この答申を尊重し、改定に向けて対応をしてまいりたいと考えております。



・11月17日（日）、秋の一大イベント「清水町オータムフェスティバル」を開催しました。

このイベントは、産業祭、農業祭、国際交流フェスタ及びわんわんフェスティバルの4つのイベントを一堂に会し、町の魅力の再発見や地域のつながりを深めることを目的に開催しました。

当日は、多くの方々が来場し、町内産業の体験や展示、地元農家の新鮮な農産物の販売、国際色豊かな出店・ステージ発表、ペットとの触れ合いなどを楽しまれていました。



・11月16日（土）、西小学校創立50周年記念式典に出席しました。

式典には、児童や教職員、来賓の方々など約500人が出席し、50年の歴史を振り返るスライドショーの上映や出席者全員による校歌の合唱などが行われました。式典終了後には、児童会行事として「ふれあいパーク」が盛大に開催されました。

西小学校の歴史を作り上げられた先人の方々に心から敬意を表するとともに、児童の皆さまと教職員、学校関係者、地域の皆さまのさらなるご活躍とご健勝、そして西小学校のますますのご発展をご祈念申し上げます。



・11月14日（木）、岩崎工消防団長とともに緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を視察しました。

静岡県は関東ブロックに所属しており、平成26年以来10年ぶりに本県で実施されました。

今回、天城ふるさと広場で行われた訓練は、大規模地震発生を想定し、座屈倒壊建物や横転車両、土砂災害現場からそれぞれ生存者を救助するため、各地の消防部隊が応援に駆け付け人命救助等を行いました。

能登半島地震から間もなく1年となりますが、改めて万一の備えの重要性を実感しました。



・11月14日(木)、清水町ごみ減量等推進委員会委嘱式及び第1回委員会を開催し、委員の皆さまに委嘱状を交付しました。

本委員会は、町の一般廃棄物の減量などについて、町民の皆さまのご意見を伺うために平成8年に発足しました。

町としましても、町民、事業者及び行政が一体となり、持続可能な社会を構築し、「くらしやすさで未来をともに作るまち」の実現を目指してまいりますので、ごみの減量や適正な処理の推進につきまして、委員の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。



・11月13日(水)、第14回税に関する絵はがきコンクールの清水町長賞を受賞された西小学校5年生の茂利豪志（もりごうし）さんに表彰状と記念品を授与しました。

本コンクールは、沼津法人会女性部会様が主体となり、小学校4年生～6年生の児童を対象に、税への関心を持ってもらうことを目的に実施しているものです。本年度は、「大事に使おう！"税" みんなの未来」を標語とした茂利さんの素晴らしい絵はがき作品が清水町長賞を受賞しました。

このたびの受賞に心からお祝いを申し上げるとともに、茂利さんのさらなるご活躍を祈念しております。



・11月12日（火）、治水事業費を確保する運動の一環として例年開催されている治水事業促進全国大会及び要望活動に参加しました。

近年は豪雨災害の頻発とともに甚大な被害が発生していることから、国・県・市町村が連携強化を図り、流域の強靱化や被災者支援等に努めていくことが求められています。

大会では、国土交通省水管理・国土保全局治水課長からの治水事業概要の説明とともに、地方代表として本年6月に豪雨災害に見舞われた山形県戸沢村長からの意見発表があり、その内容を踏まえて作成された大会決議を全会一致で議決しました。

大会終了後には、大会決議書を携え、地元選出国會議員への要望活動を実施しました。



・11月13日（水）、平時の災害対策及び災害時被災者支援活動に関する静岡県弁護士会様との協定締結式を行いました。

静岡県弁護士会様は、大規模災害時等において、法律相談窓口の設置や生活再建に関する情報発信など、被災者に寄り添った支援活動を行っています。

今回の協定締結により、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等における町民の安心・安全への支援、対策がまた一つ増えたことを大変心強く思います。

いつ起こるかわからない災害に備え、日頃からの連携を密にし、安心・安全なまちづくりに御協力を賜りますようお願い申し上げます。



・11月11日(月)、全国各地で行われている災害復旧事業の促進と防災対策強化を推進するため、災害復旧促進全国大会及び要望活動に参加しました。

本大会は、全国の都道府県知事・市町村長の思いと被災した地域の切実な声を国政に届け、災害復旧、防災・減災・国土強靱化に関して必要な予算確保を求めるための重要な大会です。

大会では、地方代表意見発表として大規模災害により被災された石川県珠洲市長、山形県酒田市長からの意見要望発表が行われ、災害復旧促進に関する決議を採択しました。

大会終了後には、決議書を携え、地元選出国会議員への要望活動を実施しました。



・11月10日(日)、清水町芸術祭～舞台発表の部～を開催しました。

芸術祭は、町民の皆さまの多様な芸術文化の発表・展示を行う場として開催しており、今年度で54回目を迎えました。

当日は、個人を含む30団体の皆さまが器楽演奏や合唱、ダンスなどを発表し、多くの来場者の前で日ごろの練習の成果を披露しました。

展示発表の部は、12月1日(日)まで、町地域交流センターで開催していますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。



・11月5日(火)、令和6年度農業振興協議会（アグリサミット）に出席しました。

アグリサミットは、旧JAなんすん地区の2市2町の関係者が、管内で取り組まれた事例報告や農作物の生産に係る課題等について意見交換を行います。

今回のサミットでは、農作物の生産において、物価高騰等により生産コストは上昇しているものの、価格への転嫁が難しい現状を踏まえ、農業者・JA・行政が連携し、食農教育を通じて地域農業を支えていくことなどを話し合いました。

